

平成31年度科学技術週間 1日科学漬けイベント

EXPLORE THE UNKNOWN ～「知らない」を探求せよ～

マガキガイ

2019

2019年 4月20日（土）10:00-17:30 ※体験型ブースは16:00で終了

会場：沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）

参加費
無料

興奮！科学のエンターテインメント

サイエンスショー

公益財団法人沖縄こどもの国

会場：エントランスホール

第1部 10:00-10:30 第2部 13:00-13:30

空気で遊ぶ！実験ショー

「空気」をつかって、色々なあそびを紹介！
「空気」で遊ぶ？「空気」はおもしろい？
実験をみて、お家でできそうなものは、やってみよう！

対象
全員

わくわく～博物館の科学～

自然史系バックヤードツアーと 常設展示解説

沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）

集合：エントランスホール

10:30-12:00（60分ツアー＋常設展示解説）

A 自然史収蔵庫と生物の収蔵品

生物担当：菊川章

B 化石収蔵庫と地学の収蔵品

地学担当：宇佐美賢

専門学芸員によるバックヤードツアーと常設展示解説を通して、
博物館の資料保存のしくみと収蔵標本・展示標本の解説を行います。
博物館や標本ってなんのためにあるのかな？一緒に考えよう！

A・B各コース
先着15名
当日9:30～
エントランス
ホールにて
（定員に達し
次第終了）

キッズ
大歓迎！

つくって・ふれて・まなぶ

科学あそびコーナー

会場：講座室

第1部 10:30-12:30 第2部 13:30-16:00

一般財団法人 沖縄美ら島財団 美ら島自然学校

“マガキガイ”ってどんな貝？

沖縄では“ティラジャー”という名前でなじみのマガキガイですが、どのような貝が知っていますか？会場ではマガキガイに関する解説パネルや標本の展示を行います。標本観察後は貝殻を使ってティラジャーのシーサー作りに挑戦してみよう！

キッズ
大歓迎！

未就学児及び
小学校低学年は
保護者の補助が必要

当日
随時受付

会場：講座室

第1部 10:30-12:00 第2部 13:30-16:00

沖縄科学技術大学院大学（OIST）

永遠に回る メビウス・カライドサイクルを作ろう！

くると回ると、形を変える、紙のリングを作ってみませんか？
1枚の紙からできた立体的なリングを、中心からくると回すと、虹のようにキレイな色とりをみせてくれます。

キッズ
大歓迎！

未就学児及び
小学校低学年は
保護者の補助が必要

当日
随時受付

会場：正面玄関入口横

第1部 10:30-12:30 第2部 13:30-15:30

JAMSTEC（GODAC 国際海洋環境情報センター）

小型 ROV（水中カメラロボット）操縦体験 ～沖縄の深海デブリを確認せよ！～

沖縄の深海にも「ごみ（デブリ）」が沈んでいる？
海には、いったいどんなごみが、どのくらいあるのだろう？
小型 ROV（水中カメラロボット）を操縦しながら、確認してみよう。

キッズ
大歓迎！

当日受付
各回先着順
30名

会場：実習室

第1部 10:30-12:30 第2部 13:30-16:00

JAMSTEC（GODAC 国際海洋環境情報センター）

マリンデブリってなんだろう？ ～マイクロプラスチックができるまで～

世界中で大きな注目を集めている「マリンデブリ（海洋ごみ）」。
どんなものがあるの？なにが問題なの？
その現状について学び、海岸の砂の中に含まれるマイクロプラスチックを調べてみよう。

キッズ
大歓迎！

当日
随時受付

会場：エントランスホール

第1部 10:00-12:00 第2部 13:00-15:00

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

あなたの生まれた日の雲を見てみよう！ ～電波で観たデータを使って工作しよう！～

- ①自分の誕生日のミニ地球儀を作ろう！ 当日受付 各回先着順 20名
- ②目では見えない雨のたまごの変化を
バラバラまんがで観てみよう！ 当日随時受付

キッズ
大歓迎！

会場：エントランスホール

第1部 10:00-12:00 第2部 13:00-15:00

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

地球、宇宙では何が起きている？！ ～電波というツールを使ってみよう！～

国立研究開発法人情報通信研究機構の電波を使った、生活に役立つ技術にふれてみよう。

対象
全員

科学講演会（博物館文化講座）

会場：3F 講堂 14:00-16:00

極低温の不思議な世界

予約不要

【講演者】 興儀 謙（よぎ まもる）氏
琉球大学理学部物質地球科学科物理系 准教授



「低温」というと、沖縄よりも北海道と思うかもしれませんが。確かに人間にとってこの温度差は非常に大きいです。しかし、物理学的には沖縄と北海道はほぼ同じような温度です。南極よりもずっと冷たい絶対零度（-273℃）近隣の「極低温」の世界では、物が凍るだけではなく不思議な現象が起こります。本講座では「人々はなぜ極低温を目指したのか？」「極低温ではどのような不思議なことが起こるのか？」「極低温で起きる現象が室温で暮らす私たちの生活にどのような影響を与えるのか？」についてお話ししたいと思います。

科学者と語ろう サイエンスカフェ

大人
向け

会場：3F カフェ

16:00-17:30

やちむんの教え

【講演者】 OIST 研究員 佐木健一 沖縄科学技術大学院大学（OIST）

沖縄の風土や文化を反映した焼き物「やちむん」は、400年以上作られている伝統工芸です。親方から弟子へ何世代にもわたる受け継がれてきたその技術は、OISTは読谷山焼北窯の協力を受け、科学的に分析し、記録しました。そこから見てきた、先人たちの知恵とそれを守る陶工たちの努力を紹介します。また、登り窯が生み出す地域の絆には、幸せな未来を築くためのメッセージがありました。伝統工芸に教わった大切なことをお伝えします。



事前申込み
4/2（火）9:00～受付開始
（TEL・来館）098-941-8200
担当：大塚
先着30名に達し次第受付終了

お問い合わせ

☎ 098-941-8200



沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum